



2026年4月1日発行

発行 仙北市議会
編集 仙北市議会・
広報編集
特別委員会

第2回定例会、議員賛否	P2	総務文教常任委員会	P9
令和8年度一般会計当初予算	P3	市民福祉常任委員会	P10
令和7年度一般会計補正予算	P4	産業建設常任委員会	P11
第1回臨時会	P5	広報委員所感・編集後記	P12
一般質問	P6~8		

■菅原一男さん撮影(田沢湖武蔵野)
「刺巻湿原の水芭蕉」

— 第2回 (2月) 定例会 —

仙北市病院事業経営健全化計画案が可決される

私たち議員の4年任期の最後となる第2回定例会が、2月18日から3月17日まで28日間の会期で開催されました。昨今の中東地域での軍事的緊張の高まりは、国際社会全体に様々な悪影響を及ぼしております。一刻も早く軍事的攻撃が終結されることを願ってやみません。

本定例会では、専決処分関係2件、条例関係14件、予算関係29件、その他6件、指定管理者関係1件、人事関係3件、議員提出議案1件の計56件が審議されすべての議案が可決されました。

「仙北市病院事業経営健全化計画」可決なる

- ① 田沢湖病院と角館総合病院の2つの市立病院の令和6年度決算が8億円の赤字となる。
 - ② この収支の悪化による資金不足を補うための一時借入金が増加し過去最高の15億円になる。
 - ③ ①②により資金不足比率が国の定める経営健全化基準(20%)を大きく上回る35.1%となった。
- ※経営健全化基準を上回った場合は、法律により令和7年度内に早期の資金不足解消に向けた「経営健全化計画」を策定しなければならない。

病院事業経営健全化計画→議会の議決が必要

- ◆ 計画期間 令和7年度から令和10年度までの4年間で資金不足比率を20%未満にする。
- ◆ 2つの市立病院の再編統合による組織改革
 - ・ 田沢湖病院の入院病床休止による診療所化など
- ◆ 計画期間中に取り組む収益確保策
 - ・ 医療・介護連携の強化による高齢者救急受入増
 - ・ 機能強化等による病床利用率向上の増収
- ◆ 計画期間中に取り組むコスト削減策
 - ・ 職員の適正配置及び退職者の不補充等での人件費の抑制など
 - ・ 非常勤医師及び研修医の報酬費の見直しなど

【反対討論】

- ① 市民・職員への説明がないまま策定された。
- ② 計画の内容が不明瞭である。
- ③ 観光・移住推進のためには田沢湖に病院が必要である。賛成7 反対6で可決される

議員提出議案(第1号) 可決される

西宮議員に対する辞職勧告決議案を全会一致で可決

- ・ ハラスメント実態調査特別委員会が行った聞き取り調査が途中であるにも関わらず、何の連絡もなく議員としての本分が見受けられない。
- ・ これまでの言動や行動は議会全体の品位と名誉を損ない、市民への信頼を著しく失墜させる行為であると判断した。

西宮議員から辞職願が提出され許可となる

本議会最終日に西宮議員から議長あてに「辞職願」が提出され、「追加日程第1」として、西宮議員の辞職願について審議され、全会一致で西宮議員の辞職が許可された。

ハラスメント実態調査特別委員会が調査結果を報告

- 8月の大雨による避難所での市議会議員のパワハラ事案等を調査してきた特別委員会は、議会初日に調査結果を報告した。
- ◆ 1月に市職員等への聞き取り調査を実施
 - ◆ 市職員や市消防団員への27件の事案が報告され避難所や消防団活動でパワハラ言動があった。
 - ◆ 市議本人に確認したが、否定している途中で体調を崩し全ての事案については確認できなかった。
 - ◆ 特別委員会は、短期間に27件の事案が報告されたことで、ハラスメントの実態はあったものと推測すると報告した。

議決結果/議員賛否 令和8年 第2回 仙北市議会 定例会(招集日:2/18 最終日:3月17日)

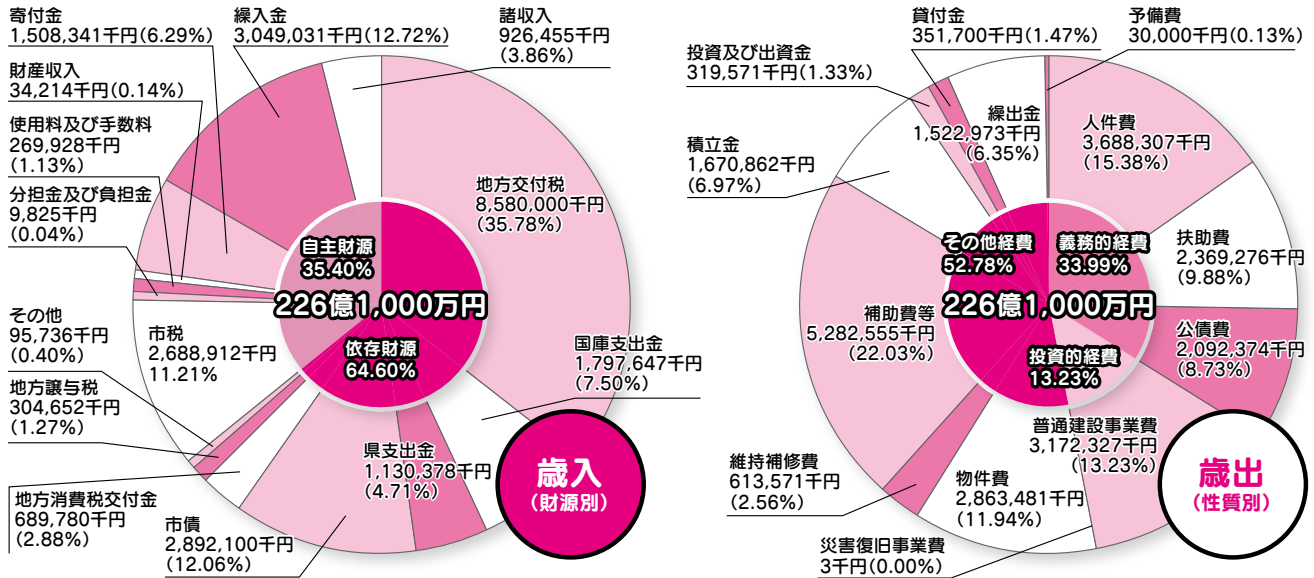
凡例: 賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席 除→除斥(議長は法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	件名	議決月日	議決結果	養生会				せん新 ほ成く		公明党	共産党	無党派				
				小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	青柳宗五郎			小田島広仁	中村和彦	熊谷一夫	平岡裕子	荒木田俊一
議案第22号	令和8年度仙北市一般会計予算	3/17	可決					賛			反		賛		退	
議案第24号	令和8年度仙北市国民健康保険特別会計予算	3/17	可決					賛			反		賛		退	
議案第25号	令和8年度仙北市後期高齢者医療特別会計予算	3/17	可決					賛			反		賛		退	
議案第50号	仙北市病院事業経営健全化計画について	3/17	可決	賛	反	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	反	反	賛	退

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載していません。

令和8年度 一般会計当初予算3年ぶりに減少 226億1,000万円

令和8年度の当初予算は、角館上野庁舎改修や旧角館総合病院解体などの大規模事業が令和7年度で終了したことなどにより、3年ぶりのマイナス編成になりましたが、昨年度に次ぐ2番目の予算規模となりました。人口減少と少子高齢化の同時進行に加え、物価高騰や人件費、金利上昇などにより不安定な財政環境の中でも「幸福度全国NO.1のまち」を目指し、市民生活の安心・安全と地域経済の持続性を両立させる施策に重点をおいた予算であるとの説明がありました。



令和8年度 一般会計当初予算の主な事業

令和8年度の事業は、仙北市が抱える人口減少や少子高齢化などの危機的状況を克服するため、徹底した子育て支援、全産業における若年層の雇用促進、市民生活の安心安全と地域経済の持続性を両立させる施策に重点を置いた予算になっております。具体的には、小・中学校給食費完全無償化、保育所等のおむつ無償化、空き家解体補助金増額、インターナショナルスクール開校支援、中小企業の採用活動支援、小・中学校の統合、宿泊施設の誘致などの事業を盛り込んでいます。

事業名	事業費(千円)	令和8年度の事業概要
庁舎整備事業	109,078	田沢湖開発センター及び旧田沢湖保健センター解体・除却
小・中学校給食費の完全無償化	78,877	令和8年度から小・中学校の給食費を無償化する
保育所等おむつ無償化事業	7,671	0歳児から2歳児の園内で使用する紙おむつを無償化する
内陸線への補助金 & 利活用事業費負担金等	74,551	内陸線の運行維持の補助金や連携協議会の負担金等
インターナショナルスクール推進事業	6,564	8月開校に向けバックアップを強力に推進。交流人口の増加や雇用の拡大による地域活性化
角館高校地域みらい留学推進事業費	3,602	角館高校と共同で県外からの入学受入れを推進する。令和8年度から生徒の生活支援
地域運営体活動推進費交付金	20,340	地域での課題解決に向け地域運営体への支援を継続する(対前年同額)
育児支援金給付事業費	1,858	1歳児 & 2歳児に15,000円を支給し子育て世帯を支援する
妊婦のための支援給付事業費	6,541	妊娠届出時5万円、出生届出時5万円の合計10万円を支給し子育て世帯を支援する
子育てファミリー支援事業	1,621	3人以上の就学前の子どもを養育する世帯に15,000円の子育て支援サポート券を交付する
すこやか子育て保育料助成事業	32,346	全園児の保育料及び副食費を無償化する事業
就学前教育・保育施設等主食費無償化事業	2,829	全園児の主食(米飯)の無償提供を行い、育児に係る保護者の負担を軽減する
福祉医療費	199,170	0歳児から高校生までの医療費及び障がい者の医療費の自己負担分を助成する
人間ドック助成	3,780	国民健康保険被保険者を対象に21,000円を助成する
多面的機能支払交付金事業	176,253	農地・農業用施設の保全や地域全体の保全管理の取り組み強化を図る
有害鳥獣駆除事業	25,184	クマの対応策強化及び増加するイノシシの侵入防止柵費用の補助やシカ対策も強化する
有害鳥獣誘引樹木伐採補助金	3,000	クマを誘引する樹木の伐採に補助金を交付する
冬期交通対策費	655,885	冬期の除雪費を当初予算に計上(令和7年度は9億7,477万円)
小・中学校統合関係事業	3,752	統合関係校による統合準備委員会を設置し、統合に必要な協議を行う
特別会計及び企業会計への補助金	2,891,404	病院事業へ14億8,000万円、水道事業へ1億4,062万円、下水道事業へ6億4,000万円、にしき苑へ1億8,792万円などを支出
一般会計市債(借金)残高	216億2,820万円	令和7年度末見込みは228億8,646万円なので約12億5,800万円減少
財政調整基金(貯金)残高	5億2,177万円	令和8年度の当初予算編成後の見込み額であり令和7年度決算後変動有り

令和7年度 一般会計補正額△1,319万2千円を可決 累計310億1,153万5千円に

今年度の除排雪費 過去最高の9億4,447万円を計上！

令和7年度一般会計補正予算（第19号・第20号・第21号）の主な事業

高齢者世帯等除雪支援事業費	533万円	今冬の大雪により申請件数が見込みを上回ったための増額
国民健康保険特別会計（神代診療施設勘定）への繰出金	565万円	神代診療所の空調設備の改修工事費
冬期交通対策費	1億3,500万円	今冬の大雪による除排雪費の増額（合計9億4,447万円） ※過去最高額
高度外国人材等受入促進事業費	986万円	令和7年度の国の補正予算による次年度への繰越事業（高度外国人材等の受入れ促進及び環境整備事業）
戸籍事務・マイナンバー制度導入事業費	651万円	令和7年度の国の補正予算による次年度への繰越事業（住民基本台帳法改正に伴うシステム改修委託料）
一般障害者福祉総務費	4,259万円	令和6年度の国庫負担金等の清算に伴う返還金
障害者自立支援給付金	1,843万円	障がい福祉サービス等利用者増加に伴う給付金の増額
教育・保育施設給付金	3,659万円	公定価格の改定に伴う給付費
一般畜産振興総務費	2,992万円	対象事業者の事業廃止に伴う返還金
農地中間管理機構関連ほ場整備事業費	3,320万円	中川地区及び大瀬蔵野地区ほ場整備事業費負担金
人と地域を創生する観光誘客事業費	1,289万円	地域未来交付金を活用した、海外誘客事業、おもてなし向上事業等実施に係る委託料
公共温泉施設無料開放事業費	78万円	3/27～3/29の3日間、花葉館、クリオン、アルパこまくさの温泉を無料で開放する。

令和7年度 一般会計補正予算（第19号・第20号）の主な質疑応答

高度外国人材受入促進事業費986万円の増額

質問 増額の理由を伺う。

答弁 国の「地域未来交付金」を活用した事業であるが、令和8年度分の交付金が前倒しで、今年度に交付されたものである。

質問 当初予算と合わせると1,973万円の事業となるが、事業内容がよく見えていないのではないかと。

答弁 今回の補正額は繰越明許費を設定し、来年度事業とするものである。事業内容は、ITエンジニア等の優れた外国人材の市内企業への就業や起業の助けを行い、地域活性化を目指している。また、外国人材と起業の双方への支援体制強化のため、グローバル雇用・創業ワンストップセンターを運営している。

今年度は、34件の相談に対応し、マッチング会等の開催により、市内企業4社でのインターンシップに繋がっている。

人と地域を創生する観光誘客事業費ってなに？

質問 1,289万円の増額だが、事業の内容と予算の内訳を伺う。

答弁 こちらも、国の「地域未来交付金」を活用した事業であり、令和8年度分の交付金が前倒しで、今年度に交付されたものである。繰越明許費を設定し来年度事業とする。

質問 今年度の事業内容と今後見込まれる成果を伺う。

答弁 羽田空港第1ターミナル内出発エリアに設置されている産直館で、観光PRを実施する。観光PRブースを設置するための会場手配やプロモーションサポートの業務を委託している。民間事業者の参画を図り観光資源の情報発信も行っている。

また、高雄マラソン参加などによる国際交流やトップセールスによる海外からの誘客を推進している。

市長の海外セールスにより、過去最高の外国人の宿泊実績に繋がっている。

— 第1回臨時会 (1/23開催) —

令和8年最初の議会、第1回臨時会が1月23日に開催されました。市民1人当たり1万5千円の商品券配付や大雪による除雪費の増額などの令和7年度一般会計補正予算案などが可決されました。また、ふるさと納税寄付額の増額や衆議院議員選挙費の専決処分した令和7年度一般会計補正予算が承認されました。

第1回臨時会議案

- ◆議案第1号 専決処分の承認について（令和7年度一般会計補正予算（第15号））※ふるさと納税増額
- ◆議案第2号 専決処分の承認について（令和7年度一般会計補正予算（第16号））※衆議院議員選挙費
- ◆議案第3号 令和7年度一般会計補正予算（第17号）※1人当たり1万5千円の商品券配付事業など
- ◆議案第4号 令和7年度一般会計補正予算（第18号）※除雪費増額

令和7年度 一般会計補正額15億6,462万6千円を可決・承認 累計310億2,472万7千円に
ふるさと納税寄付金 41億円を見込む！（過去最高の昨年度を更新！）

令和7年度 一般会計補正予算(第15・16・17・18号)の主な事業

ふるさと仙北応援基金積立金	6億円	ふるさと納税の寄付金の増額を見込む（今年度合計41億円）
ふるさと納税仙北市魅力発信事業費	3億円	ふるさと納税の返礼品等の事業費
衆議院議員選挙費	2,634万円	2/8 投票開票の衆議院議員選挙のポスター掲示板、入場券、職員手当等の経費
仙北市生活応援商品券事業費	3億5,320万円	全市民に1万5千円の商品券を3月下旬から郵送する
戸籍事務・マイナンバー制度導入事業費	231万円	4/1 施行の共同親権に係る戸籍情報システムの改修費
大雨災害復興支援事業費	492万円	大雨災害により被害を受けた方々への義援金配分に係る事業費
道路維持費	125万円	道路欠損部の補修増加による材料費の増額
冬期交通対策費	2億7,660万円	今冬の大雪による除排雪費の増額（合計8億947万円）

国の物価高騰対応重点支援 地方創生交付金

国の「物価高騰対応」として全国の自治体が自由に使える交付金が仙北市にも交付されました。

【仙北市での活用方】

- ①子ども1人当たり2万円支給（児童手当を支給されている子ども＋令和8年3月31日までに出生した子どもが対象）
- ②住民税非課税世帯に1世帯6,100円の灯油購入補助金を支給（2月中に支給）
- ③市民全員に商品券（1万5千円）を配付（3月下旬から郵送）※使用期限は8月末までで市内の登録加盟店で使用可能
- ④小・中学校の給食費無償化（令和8年度からを予定）

ふるさと納税 12月の寄付額増加！

- ◆第7回臨時会（11/6）で8億円を増額し補正後の予算額を35億円にした。
- ◆12月中の寄付額が想定を大幅に上回る。
- ◆本臨時会に6億円を増額し補正後の予算額を41億円にした。（約半分は経費である。）
- ◆昨年度寄付額38億6,761万円を大幅に上回り、過去最高額となる見込みである。

1月の大雪により除雪費を 2億7,660万円増額

- ◆当初予算 5億3,287万円
- ◆1月の除雪車の出動回数が想定を大幅に上回る
- ◆本臨時会で2億7,660万円増額
- ◆令和7年度の除排雪費が8億947万円となる



※ウエルビーイングと ※スマートシユリンクについて

質問 スマートシユリンクをどう捉えているか。

答弁 スマートシユリンク（賢く最適化）は、少子高齢化の仙北市に合致する考えと捉えている。

人口減少が進む本市においては現状を維持継続ではなく、限られた人材、財源を必要な分野に重点化し、地域の実情に即した機能と仕組みを再設計していくことが欠かせない。

質問 人口が減っても地域住民のウエルビーイングが向上する政策への転換をもっと進めるべきと考えるがどうか。

答弁 人口が減ること自体を悲観するのではなく、この町で生まれ暮らし続けることが幸せだと実感し、仙北市の魅力を内外に発信できる仕組みを整えることが市政運営の核心と考える。

質問 市民サービスを確保し、最小の経費で最大の効果を得られるよう、事業の優先順位付けによる取捨選択や抜本的な見直しを徹底

すべきと考えるがどうか。

答弁 公共施設については維持することを目的化せず、必要な機能を確保したうえで統廃合、複合化、長寿命化、民間活力の活用などを組み合わせ、地域の実情に即した再編を進める。併せてDXを徹底し、業務改革と人員配置の最適化を進めることで、サービスの質を落とさずにスピードと利便性を高める。

こうした見直しは削ることだけが目的ではなく、守るべき機能は守り抜き、重点分野に資源を振り向けることで結果として、市民の安心と暮らしの質を高めることを目指す。



■スマートシユリンクによる施設の統廃合（上野庁舎）

用語解説

※ウエルビーイング：身体的、精神的、社会的に完全に満たされたとても良い状態

※スマートシユリンク：人口減少を前提に、地域のインフラや公共サービスを賢く縮小・凝縮すること



観光振興について

質問 新たな財源として、観光振興のために、宿泊税導入は必要であると思うが、今後どのように進めていくか伺う。

答弁 全国各地で導入の動きが加速している。これまで、関係事業者の皆様と意見交換を重ねることを重視してきたが、この間様々な意見等があり、今後は、第一に仙北市の目指す観光振興を明確に示すこと、第二に税の用途と効果を示すこと、第三に意見聴取を継続し制度設計を具体化することで、導入ありきではなく、関係者の納得感を最優先に必要な手順を踏みながら、新たな財源として検討していく。

質問 仮称お祭り会館について、今後どのような方向で進めていくのか伺う。



■曳山展示などでの誘客も期待されるお祭り会館

答弁 活用できる財源確保について本気で模索し、実現については、可能性を何とか検討していきたいと考えている。

高齢者福祉の充実について

質問 子育て世代等への助成は充実してきていると思うが、高齢者世帯等への助成が進んでいないように感じる。市民であれば等しく税の恩恵に預かるべきと思うが当局の考えを伺う。

答弁 支援が行き届いていないとの指摘については、謙虚に受け止め、要望については応えていきたい。

質問 課税世帯の高齢者から助成等が該当にならないと言われるが、せめて盆や正月には、買い物券等の助成を考えてはどうか伺う。

答弁 年齢とか要件を考慮し、支援が届くように今後しっかりと検討したい。

【その他の質問】

- ◆クマ対策について
- ◆桜まつりについて
- ◆当初予算について



公明党
熊谷 一夫 議員

仙北市病院事業経営健全化計画について

- 質問** ①再編統合のスケジュール・医療ビジョン説明会はいつから行うのか。
- ②田沢湖病院は診療所として残るのか、医師・看護師は何名で診療科はどうなる。
- ③観光客、スポーツ大会等の時はどうする。
- ④令和8年10億円、9年5億円の病院事業債の発行は償還金返済に更に借金となるが返済財源は。
- ⑤再編統合後、収益増コスト削減から外来収益の増収とあるが、急速に人口減少する中、短期間で収支改善が進むのか。
- ⑥病院事業健全化における本気度について伺う。
- 答弁** (病院事業管理者) ①本年6月議会で示し、その後タウンミーティングを開催する。診療体制も丁寧の説明する。
- ②田沢湖病院を診療所へ移行したい。診療機能は診療科目を検討し、医師・看護師も必要な人員を配置する。

③救急医療は角館総合病院で対応し、観光やスポーツ等に支障はない。

④返済財源は病院事業経営改善における取組みによって生み出される為、一般会計からの繰入金等を前提としない。

⑤二つの病院の入院機能・医療人材の集約等で収益増に向けた体制整備を図り、接遇質の向上と均質化に努めていく。23億近い資金不足額の15億は借金債みたいなもので残り8億は毎年の赤字額である。資金ショートを起こした場合に共倒れとなる事を懸念している。

⑥病院の存続を第一に考え、改善が見込まれない場合は、給与費の抑制に踏み込まざるを得ない。



■診療所化される市立田沢湖病院

【その他の質問】

◆伝統的建造物群指定50周年をシテップロモーションのチャンスに！

◆八潮市の下水道事故を教訓として



荒木田俊一 議員

田沢・生保内地区の役割や位置づけについて

質問 仙北市における、田沢・生保内地区の役割や位置付けと今後の在り方はどうしていくのか。

答弁 デジタル技術の活用等による農林業振興、既存の企業や工場等の経営支援による就業や生活基盤の確保、インターナショナルスクールの誘致による市有地の活用と教育移住や多文化共生等をして行くうえで重要なエリアである。

質問 学校、病院、体育館、市民会館は建設から年月が経っているが維持管理と今後の在り方は。

答弁 多くの施設が建設から30年以上経過しているが公共施設は地域住民の大切な財産であり、地域の発展を支える基盤である。市民生活に直結する施設の維持管理には万全を期す。

質問 田沢地区の活性化は農地の有効活用が大きい鍵を握っていると思う。そこで市が農業公社等を立ち上げ、農地中間管理機構の基盤整備をし、のちに法人を立ち上げ、地元農家や移住者等も組み合わせ

わけて活性化する方法は考えられないのか。

答弁 そういった発想はなかったが、指摘をしっかりと受け止め住民の皆さんとも対応の機会を設けた。今後タウンミーティングということで、病院が中心になるが病院のみならず、今後、仙北市の姿勢について抽象的な話でなく具体的にどう向き合っていくのか、住民と意見交換の場を設けていきたい。

市民からの要望や請願の対応について

質問 秋木跡地の活用と、令和3年に採択された「総合体育館建設に関する請願」について対応はどうなっている。

答弁 体育館の建設場所の候補地と上がっていることは承知している。平成30年3月に建設基本計画書を策定しているが、現在の財政事情では早期実現は困難である。

【その他の質問】

◆「東風の湯」の長期休業について



新成せんぼく
小田島 広仁 議員

仙北市民浴場「東風の湯」について

質問 市民から早期再開を望む声が大きく、今後の予定はどうなのか。民間も含め日帰り入浴を回数券対応できないか。回数券の払戻しはできないか。「東風の湯」は無くしてはならない場所である。市長はどのように考えているか。

答弁 湯量の減少と温度低下が原因で、水を加温し、源泉と混ぜて営業できないが見積り依頼しており、3月上旬に提出されるので検討していく。アルパこまくさが市直営施設なので回数券利用を検討していく。再開の目途がつかないのに回数券を払戻ししないことは間違いと考える。おもてなし仙北取締役会で検討していく。「東風の湯」の存在の大切さは十分承知しており、基本は存続させたいと思っている。

病院事業経営健全化計画等について

質問 田沢湖病院の入院病床を休止するとあるが廃止ではないの

か。外来の診療科目はどのようになり、医師、看護師等は何人になるのか。

答弁 (病院事業管理者) 実質的には廃止し診療所化する方向である。外来診療科目は、これまでの田沢湖病院が担ってきた外来機能を基本的に考えているが、今後の人口構成等により議論しなければならぬので、計画はあるがこの場では申し上げられない。

質問 佐々木田沢湖病院名誉院長の退職の経緯について伺う。本件が引き金となり、退職を検討している方もいると聞いているが、医師の確保は大丈夫なのか。

答弁 先生との面談時に今後について前向きな話し合いができたものと認識している。引き続き地域医療へ貢献頂きたい思いに変わりはなく、市長として誠に残念である。医師の派遣要請を引き続き行い、必要な人材を確保していく。

【その他の質問】
ふるさと納税について



蒼生会
小林 幸悦 議員

小規模修繕等契約の上限額引き上げを

質問 一般的な入札参加資格を持たない小規模事業者も契約が可能となる小規模修繕等契約の上限が50万円であるが、昨今の物価高、人件費の高騰により、採算確保が厳しいとの声がある。上限額の引き上げはできないか。

答弁 現在、29名の方が登録している。上限額の引き上げは、本制度が本来入札資格を持たない事業者を対象としている性質上、施工金額が大きくなることによる工事の完成度や施工品質の確保、履行の確実性に対する懸念があることから、上限額は現行のままとした。

カーボンニュートラル宣言について

質問 国による2050年までに、二酸化炭素排出実質ゼロにするカーボンニュートラル宣言を受け、全国で宣言した自治体は急増している。秋田県でも12の自治体が宣言しているが、仙北市も宣言

してはどうか。

答弁 本市は、水力発電のメッカであり、バイオマスボイラーの導入、電気自動車の積極的な導入など脱炭素化に取り組んでいる。しかし、寒冷地のため、長期間の暖房需要や除排雪に伴うエネルギー消費が大きい地域特性があり、本市の実情に即したカーボンニュートラル宣言の可能性を前向きに検討したい。

二期目の市政運営について

質問 市長の二期目の方針には、山積する課題の解決が掲げられているが、あまり無理をせず一つずつ課題をクリアし、その達成感をモチベーションアップに繋げ、次の課題に立ち向かって欲しい。

答弁 第3次総合計画を羅針盤とし、優先順位を明確にし、階段を踏むごとく確実に成果に繋がせていきたい。

質問 今後の人口減少、インフラの老朽化、学校・病院の縮小などを受け入れたうえで、市長の10年後の明るい展望を伺う。

答弁 市民の命と暮らしを守り、人口規模が減少しても幸せに暮らせるまちを作りたい。

総務文教常任委員会

令和8年度一般会計当初予算 危険空き家対策費3,487万円 解体補助金の上限を100万円に引き上げ

2月定例会の総務文教常任委員会では、総務文教所管の条例改正案や令和7年度一般会計補正予算及び令和8年度一般会計予算などが審査されました。

■令和7年度 一般会計補正予算（第20号）総務文教関係の主な事業

地域おこし協力隊費	△1,223万円	応募隊員がいなかったための減額補正
よぶのる角館運行事業費	185万円	利用者減による収入不足を補填計上

■令和8年度 総務部・企画部・教育委員会関係の一般会計当初予算の主な事業

観光性能割交付金（歳入）	486万円	前年△1,420万円は令和8年度から軽自動車分が廃止となり減額
公共施設等マネジメント事業費	4,551万円	主要公共施設の照明をLED化
危険空き家対策費	3,487万円	解体補助金の上限を100万円に引き上げ空家対策を強化
宿泊施設誘致対策事業費	60万円	宿泊施設を誘致するためのプロジェクトチーム活動費
学校医療的支援員派遣事業費	371万円	看護師の資格を有する支援員を配置するための予算
学校給食費無償化事業費	428万円	アレルギーなどで弁当を持参する子供に対し相応分の補助経費

総務文教常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆地域おこし協力隊事業費

質問 隊員の公募をしても応募がなかったとのことだが原因等分析しているか。

答弁 移住定住をテーマとした協力隊を募集している他自治体では、首都圏での移住定住等のイベントでも協力隊を募集している例があり、仙北市としては押しが少し足りなかった。次年度は、地域おこし協力隊自らが、移住への思いが強い方に来てほしいという強いメッセージを出したい。

◆宿泊施設誘致対策事業費

質問 総務課の新規として計上しているホテル誘致事業であるが、ターゲットを絞っているか。

答弁 全域的に意欲のある事業者の意思を尊重して誘致プロジェクトチームを立ち上げ、部局横断的な体制で全庁的に宿泊施設の供給不足の解消に取り組む。

◆学校医療的支援員派遣事業費

質問 事業内容について伺う。

答弁 「痰」吸引が必要な児童が4月から小学校に入学する予定で、看護師の資格を有する支援員を配置するための予算である。国の補助3分の1の事業である。

■主な議案質疑

【議案第9号】仙北市ハラスメント防止に関する条例制定について

質問 「処分や処罰について」と「ハラスメント相談員の人選について」伺う。

答弁 職員の場合は懲戒処分について定める規定がある。特別職、議員、行政委員会の委員については公表のみである。相談員の人選については、総務課職員が2名、総務部長が推薦するものが3名、職員団体が推薦するものが2名の計7名を想定している。

質問 ハラスメントの申し出をした方が不利益とならない対策は考えているか。

答弁 本条例第15条の不利益な取り扱い禁止の周知徹底を図るとともに、相談しやすい相談員の選定と風通しの良い職場環境を整えたい。

【請願第1号】「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する請願書

会期中に審査を終了することができないので、閉会中も継続審査を要することから継続審査とする。

(門脇 晃幸 記)

市民福祉常任委員会

令和8年度 一般会計当初予算 民生費・衛生費に84億9,640万円 病院事業会計への補助金 前年度比3億8,000万円増額

令和8年度一般会計予算の内、民生費・衛生費が審査されました。子育て支援事業を多数盛り込み少子高齢化・人口減少を最重要課題と位置づけ、厳しい病院事業を継続するため、補助金を増額する予算となっています。

令和8年度 一般会計当初予算（市民福祉常任委員会で審査した項目）

項目	令和8年度予算額	令和7年度予算額	比較	備考	
民生費	社会福祉費	31億6,882万円	30億3,236万円	1億3,646万円	障がい者や高齢者の福祉に関する予算
	児童福祉費	17億6,331万円	18億5,126万円	△8,795万円	認可保育園の運営など児童福祉の予算
	生活保護費	4億6,714万円	4億6,011万円	703万円	生活保護に関わる予算
	国民年金費	1,359万円	899万円	460万円	国民年金に関連する予算
	災害救助費	74万円	66万円	8万円	災害救援に関する予算
	計	54億1,360万円	53億5,339万円	6,021万円	
衛生費	保健衛生費	5億6,119万円	8億2,247万円	△2億6,128万円	病気予防や診療所運営費などの予算
	水道費	1億5,064万円	9,693万円	5,371万円	水道事業会計への補助金
	病院費	14億8,000万円	11億円	3億8,000万円	病院事業会計への補助金
	清掃費	8億9,097万円	8億5,129万円	3,968万円	市町村圏組合廃棄物処理費負担金等
	計	30億8,280万円	28億7,070万円	2億1,210万円	

令和8年度 市民福祉部・医療局関係の一般会計当初予算 主な事業

温泉休養施設運営費	5,757万円	西木温泉クリオン多目的ホールの空調設備更新工事費
軽度・中度難聴者補聴器購入費助成事業費	124万円	今年度から18歳以上、30デシベルから利用できるよう拡大した
高齢者世帯除雪支援事業費	1,238万円	除雪券、雪下ろし券を一つにまとめどちらにも使えるように変更する
後期高齢者医療短期人間ドッグ助成費	168万円	昨年度より25人分増やし80人分、一人21,000円を助成する
教育・保育施設給付費	4億8,800万円	社会福祉法人はなさき仙北への補助金
保育所等おむつ無償化事業費	767万円	昨年度3月から始めた事業で保育所等利用園児のおむつを無償で提供する
環境衛生総務費	83万円	角館庁舎周辺のカラスのフン害が問題となっており、カラス対策のシステムで対応する
国民健康保険特別会計繰出金	1億8,382万円	一般会計からの国民健康保険特別会計への繰出金
後期高齢者医療特別会計繰出金	1億6,704万円	一般会計からの後期高齢者医療特別会計への繰出金
介護保険特別会計繰出金	1億8,792万円	一般会計からの介護保険特別会計への繰出金

市民福祉常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆保育所等おむつ無償化事業費 7,671千円

質問 保育所に入所できるのは生後57日目からとなっている。その間、保育園に通っていない子供たちへの支援は無いとのことだが、必要と考えるが検討しないのか。

答弁 保育園に入所している方を対象に事業を進めているが、必要であれば、今後、変更する可能性もあると思う。

(小田島 広仁 記)

産業建設常任委員会

令和8年度 一般会計当初予算

有害鳥獣駆除事業費2,518万円(農作物被害、人的被害防止対策)

令和8年度の一般会計予算の内、労働費、農林水産業費、商工費、土木費の予算が審査されました。農作物の被害対策・人的被害防止として有害鳥獣駆除事業費2,518万円や、伝建群防災施設整備事業費9,957万円等が計上されております。

令和8年度 一般会計当初予算(産業建設常任委員会で審査した項目)

項目	令和8年度予算	令和7年度予算	比較	備考
労働費	7,688万円	7,485万円	203万円	シルバー人材センター補助金等
農林水産業費	8億4,357万円	9億4,754万円	△1億397万円	基盤整備事業、有害鳥獣駆除事業費等
商工費	8億5,429万円	8億3,487万円	1,942万円	商工業振興、観光費等
土木費	21億5,988万円	23億1,286万円	△1億5,298万円	除雪費、道路改良費等

令和8年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計当初予算の主な事業

多面的機能支払交付金事業費	1億7,625万円	農地・農業用施設の保全等への共同活動支援
有害鳥獣駆除事業費	2,518万円	農作物や人的被害防止のため有害鳥獣捕獲の実施
森林経営管理制度事業費	2,582万円	手入れの行き届いていない森林の経営管理等
田沢湖観光振興事業費	1,166万円	澄清湖と田沢湖の姉妹湖提携40周年記念事業費
都市計画マスタープラン策定事業費	1,171万円	新たな立地適正化計画の策定
伝建群防災施設整備事業費	9,957万円	防火水槽の撤去費及び移設費
重要伝建群保存地区選定50周年記念事業費	237万円	重要伝建群選定50周年記念事業の経費

産業建設常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆就農改善センターについて

質問 雨漏りに関して、全面修繕の予算を獲得できるか。

答弁 可能な限り少額で済む部分修繕を検討していきたい。

◆田沢湖観光振興事業費について

質問 事業内容と財源は。

答弁 台湾の澄清湖と田沢湖が姉妹湖提携して40周年記念に合わせ、龍体2体を製作し相互交流の拡充を図りたい。財源は田沢湖観光振興基金を充当する。

◆国道46号盛岡秋田道路整備促進期成同盟会について

質問 同盟会における今後の方向性は。

答弁 現道拡幅とバイパスの2つの案があったがバイパス案で決定している。事業化の時期は未定である。

◆伝建群防災施設整備について

質問 1基分の移設経費か。

答弁 1基分の防火水槽及び機械室の移設と撤去費も含んでいる。

令和8年度 企業会計当初予算

企業会計名	令和8年度予算	令和7年度予算	比較	備考
温泉事業会計	1億334万円	1億1,019万円	△685万円	温泉施設改良事業に係る企業債償還金等の減
水道事業会計	12億6,843万円	11億5,285万円	1億1,558万円	未普及地域解消事業等の増
下水道事業会計	14億2,507万円	16億3,892万円	△2億1,385万円	建設改良費等の減

(武藤 義彦 記)

2年の任期を

終えての所感



委員 青柳 宗五郎

何もできないまま2年が過ぎてしまいました。委員の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。市民の皆様にとって読みやすく、分かりやすい紙面づくりを心がけ、より興味を持っていただけたら、広報となるよう努めていきたいと存じます。

今後も精進してまいりますのでどうぞよろしく願っています。



委員 武藤 義彦

広報編集にあたっては、限られた紙面の中で如何に市民に分かりやすく伝えられるかと定例会ごとに頭を抱えますが、委員会での繰り返し原稿校正や添付写真にも苦慮しながら、市民が手軽に手に取れるよう編集に務めております。

今後、さらに充実した広報とするため皆様の感想・ご意見をお知らせ頂ければ幸いです。



委員 熊谷 一夫

広報委員会で北上市と栗石町へ研修視察に行きました。

いかに読みやすい・わかりやすい・住民に親しまれる議会だよりにするために、市民(町民)と協力し、知恵を絞り、リニューアルを行って議会の動きと共に市民の笑顔も見えてくるような「議会だより」を情熱込めて創ってまいりました。当市議会だよりも皆さんに喜んで読んでもらえる紙面にしていきたいと思っております。



委員 門脇 晃幸

議会だよりは、議会の「見える化」による、説明責任を果たすことである。しかし、市民に見て頂かなくては意味をなさない。これまで様々な工夫を重ねてきたが、まだまだ不十分と考える。次代の委員会には広報の多様化を考え幅広い住民の意見(広聴)や知りた情報等の掲載を通し、住民の関心・政治参加意識の向上につながるよう期待したい。



委員 田口 寿宜

広報編集は、議員各位の思いがしっかりと市民の皆様へ伝わる事を意識し、活動して参りました。委員会では、北上市、栗石町へ



委員 小田島 広仁

研修に行ってきた。両市町とも「伝える」という部分に主眼を置き、読みやすい紙面となっておりました。改選後の「議会だより」、学んだ事を活かしながら、市民の皆様が目にする入り紙面に出来たらと思っております。

議員になつてから4年間編集に関わってきました。委員で考えていることは、市民の皆様は議会を分かたせてもらうため、見やすい議会だよりを作ること。なかなか大きく変えることはできませんでしたが、少しずつその方向に進んでいると感じています。議会だよりの原稿を作ることで、自分にとっても議会全体の発言等々について学びにもなりました。



副委員長 高橋 輝彦

平成30年に初当選してから連続8年間、編集に携わってきました。昨年度は文字を大きくしたり、特にお伝えしたい議案をピックアップして掲載したり、表紙の写真をもっと参加型にしたりと、市民の皆さまが興味を持っていただける紙面づくりを心がけてきました。そろそろ若手編集委員の大胆な発想による刷新を期待しております。

市民参加の表紙の写真

No.7

菅原 一男さん
(田沢湖武蔵野)

市民提供の表紙写真の第7弾は、田沢湖武蔵野の菅原一男さんです。菅原さんは仙北市芸術文化協会写真部に所属しており、写真歴は30年以上になります。

仙北市の豊かな自然が大好きで、市内の四季折々の様々な風景を撮り続けています。田沢湖周辺、乳頭温泉郷、角館武家屋敷がお気に入りスポット。写真以外のご趣味は俳句。地域の仲間と一緒に俳句を学んでいる時間もとても楽しいそうです。

人事案件

(敬称略)

雲沢財産区管理委員

鈴木 泰昌 (58歳) 【新任】
角館町下延大前田206

人権擁護委員

茂木 一代 (64歳) 【再任】
角館町小勝田中川原111

浅利 浩子 (68歳) 【再任】
西木町松木内字山口199

編集後記

大雪で悩まされたことが嘘のように、雪解けを嬉しく感じます。

仙北市民歌3番後段に、「平和の幸を創るまち」とあります。何気なく口ずさむこの言葉の重さを、卒業式場いっばいに響き渡る歌声に、今の世界情勢を考えてしまいました。

編集には、市民の皆さんが読みやすく、手に取りたい紙面を心がけ参りました。「意見お聞かせ下さい」とあったから連絡してみた。とてもうれしい一報もありました。内容の詳細な説明を求められたりすることで、委員会の重責を実感できました。

この2年間に、岩手県北上市議会・栗石町議会を訪ね、広報担当委員会と交流の中から学び得たことを、即刻生かしたい熱意は広報委員皆同じであることを確認できました。次期編集委員会に期待をしたいと思います。



(平岡 裕子委員長記)